

カラコルム フーシェ谷トレッキング

【羽田からフーシェ谷までの4日間】

当初の予定より一日遅い5月29日朝7時羽田空港国際線出国ロビーに集合。森さんを隊長に男性2名女性4名の旅。8時20分に飛行機は飛び立つ。北京まで約3時間のフライト。12時10分北京着。日本時間16時30分北京発イスラマバード行きの飛行機に乗り込むもいっこうに動く気配なし。19時一旦飛行機を降ろされる。機体の不具合か何からしいがアナウスは中国語と英語でよく解らない。20時20分やっと離陸。翌日の夜中2時20分無事イスラマバードに到着。日本との時差は4時間。空港はとても綺麗でモザイクの壁画があったが撮影は禁止。ちょうどドラマダンの期間らしく日没後で皆なんだか嬉しそう。



今回のツアーでお世話になる現地エージェントの方が空港に迎えに来てくれていた。そのまま夕食のレストラン行く。夜も遅いけどすごい交通量。日本と同じ左側通行でクラクションをパーパー鳴らしながら縫うように車を走らせていく。車線はないみたい。レストランに着き、屋外の席で5~6人ずつテーブルを囲みカレーとナンを食べる。お酒はないのでコーラかSprite、ミネラルウォーターを飲む。カレーは辛いけど美味しかった。その後ホテルへ行く。入口に銃を持った警備の人がいるホテルに入る時、金属探知機で検査される。高そうで綺麗なホテルだった。とりあえずこの日は寝た。

5月30日 スカルド泊

現地時間6時起床。シャワーはお湯が出た。7時朝食、8時前ロビーに集合しスカルドへ行くため空港へ向かう。9時30分頃空港到着、10時45分離陸。



この日は天気が良く機内の窓からは雪を頂く7千メートル級の山々を間近に見ることができた。





14 時頃スカルドに着きレストランで昼食を摂る。庭のさくらんぼを取ってデザートに少し食べた。16 時 45 分今夜の宿『K 2 ホテル』に着く。街中の喧騒が嘘のように静かなホテルで庭にはバラが咲き、2 階のテラスからは悠久の流れのインダス河が望めた。

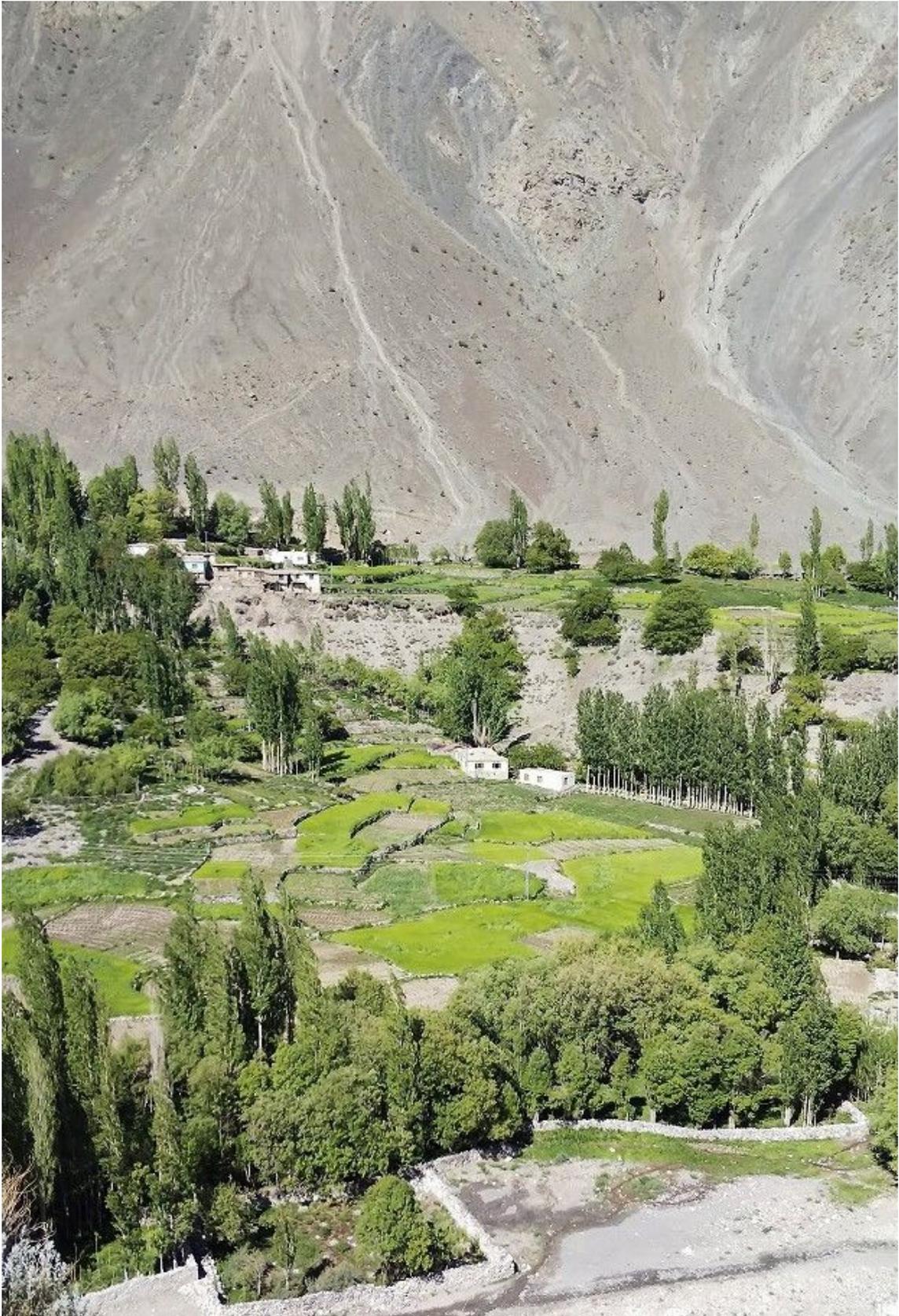




荷物を置いてスカルドの街へ買い物。今回私はザックの他にキャリアケースを持って行ったがポーターさんに運んでもらうために大きめのバッグを買い、そっちに荷物をパッキングし直した。このお店でドルをパキスタンルピーに両替してもらう。20時30分ホテルのレストランで夕食。街中に放送で流れるコーランを子守唄に眠った。

5月31日晴れ スカルド泊

5時20分頃起床。朝食は7時、8時高度順応のため車でデオサイ高原へ出発。所々車を停めて写真を撮る。天気が良く青い空に雪を頂く山々が美しく映える。途中サトパラ村が見えた。風に揺れるポプラの木々、畑の青々とした草、村を流れる川、どれも太陽の光に照らされてキラキラ輝いて見えた。



標高が上がるにつれ雪が道路の脇に残り、道がぬかるんできた。

四駆で何回もギアを切り替えながらゆっくり上っていく。
道下の川は雪解け水が轟々と流れている。まささらな雪が残る雪原で労山の方が持って来た「平和だから登山ができる」という横断幕を掲げて写真撮影をした。
九州育ちなので雪が嬉しくてついはいしゃいでしまったが、4000mくらいあるので、走るとやはり息が苦しい。
その後來る途中にあった売店の跡という屋根のない建物で昼食を摂る。
高度での体調を知るために体温や血圧、血中酸素濃度を測る。
K2ホテルに戻りテラスでコーヒーと人形焼を食べた。
一息ついたので意を決してシャワーを浴びたら奇跡的にお湯が出た。他の部屋は出なかったのが皆で順番に浴びた。
この日の夕食は現地エージェント、チャンギジさんの兄弟の方の家に招待される。
車で移動して通りから住宅街の入り組んだ路地の先にある家に案内される。
モトコさんという日本の方が嫁いでこられているそうで、その方が料理を作ってくださった。日本風で野菜も多く箸も用意されていて食べやすかった。



6月1日晴れ フーシェ村泊

朝5時くらいには目が覚める。皆食べ物か水のせいかお腹の調子が良くないらしい。
こちらの朝食はだいたい玉子料理(目玉焼き、ゆで玉子、オムレツ)食パン、チャパティ、コーヒー、ブラックティー、グリーンティー。
12時頃荷物をトラックに積み込みフーシェへ出発。
途中の村で昼食のカレーを食べる。外国人が珍しいのか、じろじろ見られる。
お店のお客さんは男の人ばかりで女の人は見かけない。

道路は舗装され道幅も片側一車線くらいはあり走りやすかった。
道路脇には大きな石がゴロゴロしていて、いつ落ちてきてもおかしくなくヒヤヒヤして乗っていたが意外と落ちないものだ。
スカルドの街から遠ざかるにつれ段々道路の状態が悪くなっていく。危なげな吊り橋を車は順番に一台ずつ渡り、デコボコ道を四駆で進んで行く。
しかし感心するのは山に向けて進んでいってもちゃんと鉄塔があり電気がきていることだ。あと道路脇の石積みがとてもキレイなこと。



所々休憩を兼ねて車を止め写真を撮る。18時頃やっとフーシェ村に着く。
この日はホテルとは呼べない村の人家に泊まる。部屋が3つと台所、食堂があり建物の真ん中は吹き抜けで山が見える。平屋建てで屋上に上れるようになっているが、危うく天井を踏み抜きかけた。部屋に布団はあったがその上にシュラフを敷いた。疲れていた
のでひと眠りして21時30分夕食。鶏を一羽つぶしたフライドチキンは揚げたてで美味しかった。

(御厨美穂子)